

実施計画レイアウトイメージ

安全な水を安定して届ける ～適正な施設への再構築～

取組① 施設能力の適正化（受水と自己水のあり方）

・概要

40年先を見据えると、人口の減少に伴う水需要の減少は続き、施設的能力と水需要とのかい離は広がっていくと考えられます。また、多くの施設は老朽化が進み、特に浄水の役割を担う施設の更新が多く控えています。そのため神崎浄水場の役割や見直しの時期を考慮した中で、神崎浄水場の配水場化に向けたリニューアルを行い、将来の投資や維持管理費用の軽減を目指します。

・目標（10年後）

令和12～21年での神崎浄水場の配水場化に向けた施設のリニューアルを実施

・年次計画

令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
神崎浄水場の配水場化に向けた施設のリニューアル				
・阪神水道企業団 の分賦基本水量の 調整	⇒	⇒	⇒	⇒
・リニューアルに向け た方針策定	⇒	・方針に基づき実施	⇒	⇒
・よりきめ細やかな設 備の保全	⇒	⇒	⇒	⇒